
高槻市
こども等に関するアンケート・意見聴取
結果報告書
(速報版)

令和8年1月

I ふだんの生活に関するアンケート調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「高槻市こども計画（以下、「こども計画」といいます。）」の改定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に、ふだんの生活に関するアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

【小学5年生・小学5年生保護者】

高槻市在住の小学5年生およびその保護者（全数調査）

【中学2年生・中学2年生保護者】

高槻市在住の中学2年生およびその保護者（全数調査）

【15～39歳】

高槻市在住の15～39歳の市民から無作為抽出

(3) 調査期間

令和7年7月23日（水）～令和7年9月19日（金）

(4) 調査方法

郵送により告知文を配布し、Webアンケートを実施

(5) 配布数、有効回収数及び回収率

調査対象		配布数	有効回収数	有効回収率
子育て 当事者	小学5年生保護者	2,947件	981件	33.3%
	中学2年生保護者	2,992件	847件	28.3%
小学5年生		2,947件	1,090件	37.0%
中学2年生		2,992件	865件	28.9%
15～39歳		3,000件	615件	20.5%

II 市ホームページによる意見募集結果

○調査目的

こども計画の改定に向け、「I ふだんの生活に関するアンケート調査」の対象者以外の意見表明の機会を設けることを目的に、意見募集を実施しました。

○調査概要

調査期間：令和7年7月23日（水）～令和7年9月19日（金）

調査対象：39歳までの市民及びその保護者

調査方法：広報誌等で周知し、市ホームページにより意見を募集

○回答数

	件数
小学生	32件
中学生	15件
高校生年代	1件
こどもの保護者	36件
合計	84件

III 対面による現場での意見聴取結果

1 就学前児童及びその保護者に対する意見聴取

(1) 就学前児童に対する意見聴取

○調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握、意見表明の機会を設けること及び今後の施設運営の参考とすることを目的に、就学前児童の意見聴取を実施しました。

○調査概要

調査期間：令和7年9月6日（土）10:00～14:00

調査対象：高槻市立子育て総合支援センター（カンガルーの森）のイベント「まるごとカンガルーDAY」に参加した就学前児童

調査方法：質問に対して、選択肢にシールを貼って回答してもらう形式で実施



○調査対象者数及び回答数

調査対象者数	回答数
308人	好きな遊び：209件 まるごとカンガルーDAYで楽しかった遊び：379件 ※複数回答可

（2）保護者に対するアンケート調査

○調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握、意見表明の機会を設けること及び今後の施設運営の参考とすることを目的に、就学前児童の保護者向けのアンケート調査を実施しました。

○調査方法

調査期間：令和7年9月6日（土）

調査対象：高槻市立子育て総合支援センター（カンガルーの森）のイベント「まるごとカンガルーDAY」に参加した就学前児童の保護者

調査方法：二次元コードを掲示し、Webアンケートを実施

○調査対象者数、回答数及び回答率

調査対象者数	回答数	回答率
239組（各家族につき1回の回答）	144件	60.3%

2 不登校児童生徒支援室での意見聴取

○調査目的

こども計画の改定に向け、不登校児童生徒支援室に通うこどもの意見聴取を実施しました。

○調査概要

調査期間：令和7年10月2日（木）13:15～14:15

調査対象：高槻市教育センター4階の不登校児童生徒支援室「エスペランサ」に通うこども数名

○調査方法及び実施上の配慮

不登校児童生徒支援室に通うこどもたちが日常的に過ごしている「エスペランサルーム」において実施しました。テーマは、「こども計画について」、「自分が楽しいこと・うれしいこと」、「自分が安心できる場所・理由」、「自分にとって学校とは何か」、「学校に対して「こうなったらいいのに」と思うこと」。

参加した大人は、ファシリテーター1名、記録係1名、不登校児童生徒支援室教職員2名の計4名とし、初対面の大人を必要最小限とすることで、こどもたちが安心して意見を述べられる環境づくりに配慮しました。

実施にあたっては、発言の順番は誰からでもよいこと、話したくないときはパスしてもよいことなどを事前に伝えました。また、意見を整理したり書き留めたりできるよう、付箋及びペンを配付しました。

さらに、以下の約束を最初に説明し、ホワイトボードに掲示し、全員で共有しました。

- ・みんなに聞こえるように話そう
- ・人の話をさえぎらない
- ・人と違っても大丈夫
- ・人の話を否定しない
- ・みんな同じくらい話そう



エスペランサルーム

3 青少年に対する意見聴取

(1) アンケート調査

○調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に、青少年に対するアンケート調査を実施しました。

○調査方法

調査期間：令和7年9月16日（火）～10月5日（日）

調査対象：高槻市立総合市民交流センター（クロスパル高槻）6階の青少年センター（街角ユースフロア）の利用者

調査方法：二次元コードを配布し、Webアンケートを実施

○配布数、回答数及び回答率

配布数	回答数	回答率
321件	37件	11.5%

(2) 対面による現場での意見聴取

○調査目的

こども計画の改定に向け、現状の把握及び意見表明の機会を設けることを目的に、対面による現場での意見聴取を実施しました。

○調査概要

調査期間：令和7年10月5日（日）15:00～16:20

調査対象：（1）アンケート調査回答者のうち、対面による現場での意見聴取（フリートーク会）参加希望者数名

○調査方法及び実施上の配慮

高槻市立総合市民交流センター（クロスパル高槻）4階402会議室において実施しました。テーマは、「普段の楽しみについて」、「困っていることや悩んでいること」、「高槻市のイメージ」、「高槻市がもっとこうなってほしい」、「若者のためにやってほしいこと・やりたいこと」。

参加した大人は、ファシリテーター1名、記録係1名の計2名とし、お菓子や飲み物を自由にとりながら、参加者がリラックスした状態で意見を述べやすい環境づくりに配慮しました。

参加者の名前は募集段階からニックネームでの応募を可とし、対面での意見聴取においても実名は控えました。発言の順番は誰からでもよいこと、話したくないときは話さなくてよいことなどを事前に伝えました。

さらに、以下の約束を最初に説明し、全員で共有しました。

- ・みんなに聞こえるように話してください
- ・人の話をさえぎったり、否定したりしないでください
- ・人と違う意見は大歓迎
- ・思ったことは何でも話そう